

胃瘻造設後に経口摂取可能となった症例

三重北医療センター 菰野厚生病院 薬剤部¹⁾ リハビリテーション科²⁾

前川純一¹⁾ 谷口靖樹¹⁾ 千原万穂²⁾

【はじめに】当院にて2018年9月以降、胃瘻からの経管栄養を離脱し、完全経口栄養へ移行できた症例を報告する。

【症例】症例 1. 54 歳女性、左被殻出血、発症後 day45 に胃瘻造設、day58 当院転院、day203 軟飯食 1400Kcal 摂取可能にて退院。症例 2. 57 歳女性、右尾状核出血、day42 に胃瘻造設。day51 当院転院、day101 常食 1600kcal 摂取可能となった。症例 3. 80 歳男性、肺炎、day22 左声帯麻痺による嚥下困難のため胃瘻造設、day42 当院転院、day122 軟飯食 1900Kcal 摂取可能となり退院。症例 4. 88 歳女性、発熱、右膝疼痛のため当院入院。入院中に嘔吐、食思不振出現し、そのまま食事摂取不良となったため day135 胃瘻造設。day163 VF 実施し DSS5、経口訓練開始。Day200 やわらか食 1300Kcal 摂取可能となったため退院。症例 5. 64 歳男性、心原性脳塞栓症、day30 胃瘻造設。day56 当院転院、day160 軟飯食 1800Kcal 摂取可能にて退院。症例 6. 78 歳女性、左前頭葉・深部白質脳梗塞、day20 胃瘻造設、day42 当院転院、day74 食事訓練開始、day179 全粥食 1500Kcal 摂取可能にて退院。

【まとめ】6 症例にて胃瘻栄養から完全経口摂取へ移行することができた。